

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年 6月30日

施設名	高知県立森林研修センター研修館	所管課名	森づくり推進課
-----	-----------------	------	---------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県山村林業振興基金	指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町大平80		
事業内容	(1) 研修館の利用の許可等に関する業務 (2) 研修館の利用料金の徴収等に関する業務 (3) 研修館の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 研修館の利用の促進に関する業務 (5) 研修館の食堂の運営に関する業務 (6) 前各号に掲げるもののほか、研修館の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 施設の規模: 木造1階建(一部2階建)、延床面積 1,058.25㎡ 利用時間: 午前8時30分から午後5時15分まで 休館日: 日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日並びに12月29日から1月3日まで 主な利用料金: 一時間につき、研修室A450円(560円)、研修室B550円(680円)、宿泊室(洋室)2,700円(3,370円)、宿泊室(和室)1,300円(1,620円)、()の料金は休館日		
職員体制	常勤職員: 5人(うち嘱託: 4) 非常勤職員: 人 合計: 5人		

## 2 収支の状況

単位:千円

		20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
収入	県支出金	10,448	10,218	10,500
	使用料・手数料	1,008	1,221	1,405
	その他			
	収入計 (a)	11,456	11,439	11,905
支出	事業費	2,475	2,703	2,470
	管理運営費	5,382	5,443	5,460
	人件費	3,432	3,318	3,975
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	11,289	11,464	11,905

### 3 利用状況

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	研修室利用者延べ:2,180 宿泊者延べ:449	研修室利用者延べ:3,049 宿泊者延べ:565	研修室利用者延べ:3,000 宿泊者延べ:700
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 時 期:平成21年4月1日から平成22年3月末 方 法:各研修の修了時にアンケート用紙を受講者に配布し実施している。(宿泊者対象) 回答数:14通(希望者のみ記載) 結果:アンケート結果については、研修内容及び施設の管理運営に反映している		
	○その他		
③その他特記事項	ホームページによる研修計画の紹介や林業関係広報誌への掲載、また、研修に空きのある期間については、自主企画研修を実施するなど、利用者の増に努めている。		

### 4 平成21年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	清掃、施設管理等が適切に行われており、職員配置については、常勤職員5名の勤務により適正に配置されている。個人情報については、個人情報保護に関する規程を整備し、鍵の掛かるロッカーに保管、個人情報の保護に努めている。
②利用者サービスの維持向上	利用者アンケートによる利用者意見の把握、スケジュールボードの設置、毎月のミーティング時に、課題や改善点の整理等を行いサービスの維持向上に努めている。また、職員は常時名札を付けるようにしている。
③利用実績	指定管理者自らが企画した自主企画研修の実施や施設のPRなどにより、指定管理者移行前の平成17年度の研修室利用者数延べ2,153人に対して、平成18年度以降は概ね順調に実績を伸ばしてきた。 平成21年度の研修室利用者数については、林業就業希望者を対象にした就業支援講習、新規就業者を対象にした緑の雇用研修及び各種資格・免許が取得できる林業技術者養成研修での利用者数の増加に加え、夏休み子供理科教室や木工、森林学習など森林環境教育の会場として子供たちの利用が増加したことにより、平成20年度に比べ869人の大幅な増加となった。 今後も、HPの見直しや利用パンフレットの配布場所を増やすなど、施設の利用について積極的なPRを行うとともに、新たな自主企画研修により利用者の増加に努めることが必要と思われる。
④収支の状況	利用収入は概ね計画通りであったが、修繕費等の増加により、25,008円の赤字となっている。
総合評価	適正な管理運営が行われており、また、研修の空き期間には、自主企画研修を実施するなど適切な運営に努めている。今後は、宿泊者だけでなく研修修了者等を対象としたアンケート等により、利用者の意見を聴き運営に反映するとともに、積極的なPR活動を行っていくことが必要と思われる。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの